

簡易仕様書

アプリ名

近場のレストラン検索

対象OSおよびブラウザ(バージョン情報含む)

OS: Windows10

ブラウザ: Google Chrome

バージョン: 133.0.6943.142 (Official Build) (64 ビット)

開発環境/言語・開発期間・機能概要(機能一覧)

開発環境: Visual Studio Code

言語: JavaScript

開発期間: 2025/2/26~2025/3/11

機能概要

- 現在位置から距離を指定してレストランを検索する機能
- 検索したレストランを一覧表示で見る機能
- レストランの詳細情報を見る機能
- ホットペッパーで詳しく見る機能
- GoogleMapで場所を確認する機能

フレームワーク(ver.含む)

Next.js (v15.1.7)、React (v19.0.0)、MUI v6 (@mui/material v6.4.7)

テーブル定義(ER図)などの設計ドキュメント

新規にデータベースを作成していません。

開発環境構築手順(他の開発者が提出物のウェブアプリを動かし確認できるようにするための具体的な手順)

Gitリポジトリ(<https://github.com/BlueKoop0127/NearRestaurants>)をクローン

「npm install」コマンドを実行

<https://webservice.recruit.co.jp/register> からAPIキーを取得する

「.env.local」ファイルを作成し「API_KEY=自身のAPIキー」と記述する

「npm run dev」コマンドを実行し、「http://localhost:3000」にアクセスする

コンセプト

ユーザーが現在地から近くのレストランを素早く検索できるシンプルなWebアプリ

こだわったポイント

- ユーザーが迷うことが無いように、単純なボタンのみの操作にしたところ
- 一覧表示した時に、それぞれの店の情報が多くなりすぎないようにかつ比較に必要な情報は記載したところ
- 距離感や大体の場所は分かっても実際に行く時は恐らくGoogleMapなどの地図アプリを開いて住所を入力するので、その手間を省くためにGoogleMapで見るボタンを作成した
- ホットペッパーのAPIだけでは十分な情報を得ることが出来なかったので詳しい情報が欲しい人のためにホットペッパーへのリンクボタンを作成した
- クエリパラメータを利用することでブラウザの戻る機能を使っても元の画面に戻れるようにしたこと
- ユーザーは既に距離で検索しているので、距離順にする必要は無いと考え、検索結果をおすすめ順にしたこと

デザイン面でこだわったポイント

- 色合いを全体で統一したこと
- シンプルなデザインにして画面がうるさくならないようにしたこと

技術面でアドバイスして欲しいポイント

一人で開発することが多く、きちんとしたコーディングルールのようなものがまだ身についていないことが自身の悪い点だと感じているのですが、コンポーネントを定義する場所や命名規則、この書き方はやめた方が良さと思うようなコードなどがあれば是非理由と改善案を添えてアドバイスしていただきたいです。

自己評価

要求された仕様はすべて満たしているため、その点は非常に良かったと考えている。
また、コンセプトである「素早く検索できるシンプルなWebアプリ」を実現するため、あえて距離以外の検索条件を一切入れなかった。しかし、ユーザーによっては条件検索(例:ジャンル・価格帯など)を求める場合もあるため、この点については評価が分かれる可能性があると感じている。

ユーザー視点で必要だと感じた機能をできる限り実装したが、「現在営業中かどうかを一覧で表示する機能」が実装できなかった点は課題として残った。

この機能の実装は、各店舗の営業時間データが文字列型でかつフォーマットが統一されていないことから、単純な文字列処理では対応が難しく、実装を断念せざるを得なかった。

総合的には、仕様をすべて満たし、処理速度に問題がなく、バグもなく安定して動作する点において、完成度の高いアプリに仕上がったと評価している。